

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画施策進行調書(その1) (単位:千円)

政策目標	1	子どもを生き育てやすく、健やかにはぐむ街						
重点課題	2	未来を担う子どもが健やかに育つ環境の充実						
施策の基本方針	札幌の明日を担う子どもたちが、未来に夢を持ち、個性や能力を發揮し、心身ともに健やかに育つ環境づくりを進めるため、自ら考える力や思いやりと豊かな心をはぐむ取り組みを実施します。また、子どもの相談体制の強化や学びの意欲を育てるなど、のびのびと成長・発達していける教育環境の充実を、学校、家庭、地域社会がそれぞれの役割を果たしながら連携して推進します。							
	計 画 事 業 の 実 施 状 況							
施策番号	事業名	計 画 事 業 費	実 績 事 業 費					進捗率 (%)
			19年度 (決算)	20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	合 計	
1	さっぽろ学校給食フードリサイクル		83	8,127	518	506	9,234	-
1	信頼される学校の創造事業		37,764	37,127	37,464	28,150	140,505	-
1	生きいきと学ぶ力の育成事業		6,827	6,781	7,651	1,981	23,240	-
1	国際理解教育推進事業(外国語指導助手配置)	126,000	0	17,444	35,980	53,973	107,397	85.2
1	家庭教育事業		15,812	15,133	14,601	13,286	58,832	-
1	学校図書館地域開放事業	18,000	1,063	2,976	5,785	7,568	17,392	96.6
1	学校・地域連携事業		2,175	2,175	2,198	2,175	8,723	-
1	札幌市立大学大学院設置支援事業		0	96,000	1,131,383	0	1,227,383	-
1	(仮称)市立認定こども園整備事業[再掲]	533,000	86,313	392,345	0	0	478,658	89.8
1	札幌市奨学金の拡充	77,000	0	14,542	28,495	42,006	85,043	110.4
1	幼児教育の振興を図る新たなしくみの構築		6,677	18,751	18,489	17,101	61,018	-
1	新しいタイプの定時制高校「市立札幌大通高等学校」の設置	2,670,000	145,219	3,360	2,377,286	306,684	2,832,549	106.1
1	特色ある市立高校づくり	40,000	11,139	9,116	6,220	5,374	31,849	79.6
2	児童家庭支援センター体制整備	57,000	0	2,000	2,000	18,181	22,181	38.9
2	いじめ・不登校対策の推進事業	352,000	24,048	79,124	79,124	79,124	261,420	74.3
2	児童クラブなどにおける障がいのある子どもの対応の充実	78,000	22,127	22,960	44,977	46,834	136,898	175.5
2	特別支援学級の整備	124,000	32,242	51,668	23,810	34,308	142,028	114.5
2	特別支援教育の推進体制の充実	1,119,000	44,006	90,148	112,296	135,137	381,587	34.1
2	豊明高等養護学校における教育の充実	271,000	1,833	245,146	0	0	246,979	91.1
2	地域小規模児童養護施設の整備	21,000	0	0	0	8,000	8,000	38.1
3	アジア学生交流事業	3,000	0	377	277	0	654	21.8
3	わたしたちの児童会館づくり事業	4,000	1,001	1,000	1,000	1,000	4,001	100
3	さっぽろ夢大陸「大志塾」事業	15,000	3,933	3,387	3,060	2,888	13,268	88.5
3	こどものまち「ミニさっぽろ」事業	18,000	4,150	8,070	6,048	5,595	23,863	132.6
3	子どもの美術体験事業	4,000	0	2,000	3,800	9,500	15,300	382.5
3	子どもの映像制作体験事業	5,000	0	1,000	1,000	1,000	3,000	60
3	佐藤忠良関連施設整備事業(H20終了)	358,000	110,738	222,414	0	0	333,152	93.1
3	Kitaraファーストコンサート事業	115,000	28,761	28,761	27,851	25,781	111,154	96.7
3	子どもの自然体験活動事業		18,823	15,423	12,779	10,902	57,927	-
3	青少年科学館展示物整備事業	40,000	39,900	0	0	0	39,900	99.8
3	児童会館における中・高校生の利用促進	183,000	11,629	33,300	50,111	68,293	163,333	89.3
3	ミニ児童会館の新設	645,000	123,465	49,115	88,819	103,350	364,749	56.6
3	放課後子どもプランの推進		0	6,588	0	0	6,588	-
3	子どもの権利の推進	134,000	10,664	18,904	54,148	52,607	136,323	101.7
合 計 (計画事業費が「-」の事業は除く)		7,010,000	702,231	1,299,157	2,952,087	1,007,203	5,960,678	85

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画施策進行調書(その2)

政策目標		1	子どもを生き育てやすく、健やかにはぐむ街					
重点課題		2	未来を担う子どもが健やかに育つ環境の充実					
達成目標の状況								
施策番号	項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (実績)	22年度末 (目標)
1	1	リサイクル堆肥を使用して栽培した作物の提供校数	2校	272校	全小中学校 (305校)	全小中学校 (305校)	全小中学校 (305校)	全小中学校
1	1	教職員以外からの学校評価を実施している小中学校の割合	75%	90%	95%	69%	100%	100%
1	1	中学校における職場体験の実施校率	51%	68.4%	85.7%	74.5%	99%	100%
1	1	ALT配置人数	43人	43人	48人	53人	58人	58人
1	1	家庭教育学級数	206学級	210学級	205学級	203学級	201学級	214学級
1	1	学校図書館地域開放校数(小・中学校)	87校	90校	93校	96校	99校	99校
1	1	(学校・地域連携)事業実施校数	40校	45校	50校	55校	60校	60校
1	1	(札幌市立大学)大学院設置	-	-	検討	着手	設置	設置
1	1	(札幌市立大学)民間企業等からの受託研究数の増	-	-	-	-	12件	15件
1	1	(仮称)市立認定こども園の開園	-	準備	準備	開園		開園 (21年度)
1	1	奨学金支給対象数	456人	463人	698人	1,171人	1,307人	1,000人
1	1	(仮称)札幌市幼児教育センター[正式名称:札幌市幼児教育センター]の開設	-	設置	開設			開設 (20年度)
1	1	市立札幌大通高等学校の開設	-	準備	開設			開設 (20年度)
1	1	(特色ある市立高校)新たに導入した学科やコースなどの制度数(累計)	5制度	5制度	5制度	7制度	8制度	8制度
2	2	児童家庭支援センター設置数(累計)	2カ所	2カ所	2カ所	2カ所	4カ所	4カ所 (21年度)
2	2	(いじめ・不登校対策)小学校の相談時間数	-	月2時間	月4時間	月4時間	月4時間	月4時間 (20年度)
2	2	(いじめ・不登校対策)中学校の相談時間数	週6時間	週6時間	週8時間	週8時間	週8時間	週8時間 (20年度)
2	2	(児童クラブなど)障がいのある子どもがいる場合の指導員配置や助成額の充実(障がいのある児童の)	2人以上	1人以上				1人以上 (19年度)
2	2	特別支援学級設置率	43%	49%	55%	58%	64%	55%
2	2	特別支援教育巡回相談員配置数	3人	10人	10人	10人	10人	10人 (19年度)
2	2	特別支援教育支援員活用体制の構築	-	-	構築	整備・拡大	整備・拡大	構築 (20年度)
2	2	豊明高等養護学校の間口数	18間口	18間口	19間口	20間口	22間口	21間口
2	2	地域小規模児童養護施設設置数	-	-	-	-	1カ所	1カ所
3	3	(アジア学生交流)市民参加者数(当事業に参加した市民の数)	-	-	321人	200人	479人	500人
3	3	(わたしたちの児童会館)子ども運営委員会設置数(累計)	12館	60館	全館 (155館)	全館 (159館)	全館 (164館)	児童会館、ミ ニ児童会館全
3	3	(さっぽろ夢大陸「大志塾」)参加人数	186人	167人	255人	225人	224人	200人
3	3	(こどものまち「ミニさっぽろ」)参加人数	3,440人	4,428人	3,096人	2,945人	3,403人	5,000人
3	3	(子どもの美術体験)参加児童数(累計)	-	-	2,119人	4,705人	12,019人	3,200人
3	3	(子どもの映像制作体験)参加者数(累計)	-	-	17人	37人	59人	50人
3	3	(佐藤忠良関連施設)施設開設	-	解体・設計・ 作品選定	開設			開設 (20年度)
3	3	(Kitaraファーストコンサート)学校の参加率	94.2%	92.3%	95.5%	91.9%	96.8%	95.0%以上

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画施策進行調書(その3)

政策目標	1	子どもを生き育てやすく、健やかにはぐくむ街					
重点課題	2	未来を担う子どもが健やかに育つ環境の充実					
達成目標の状況							
施策番号	項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (実績)	22年度末 (目標)
3	林間学校参加者の親から見た子どもたちの成長度合い(5点満点)	3.58	未実施	3.64	未実施	3.60	4.00
3	(青少年科学館)入場者数	292,854人	351,645人	342,258人	328,168人	358,112人	352,000人
3	(児童会館の中・高校生)夜間利用実施館数	20館	40館	60館	80館	103館	104館
3	ミニ児童会館数	40館	51館	55館	60館	68館	70館
3	放課後子どもプラン事業計画の策定	-	検討	策定	/	/	策定 (19年度)
3	子どもの権利条例の制定	-	準備	制定	推進	推進	制定 (20年度)

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画施策進行調書(その4)

政策目標	1	子どもを生き育てやすく、健やかにはぐくむ街
重点課題	2	未来を担う子どもが健やかに育つ環境の充実
主 な 取 組 内 容		
施策1	学びの意欲を育てる学校教育の推進	
	19年度(実績)	20年度(実績)
	<p>重点校(5校)において学校教育活動全体でフードリサイクルに取組み実践活動を通して食育・環境教育を推進 義務教育の質の保証に資する学校評価システム構築事業実施 札幌市教育研究推進事業、学校研究委託事業を実施 子どもや地域住民の読書活動を盛んにすること等を目的に学校図書館を地域に開放。19年度新規開設3校(ほか開設校計87校) 学校・地域連携事業の実施(19年度新規実績5校) 「札幌市の幼児教育振興を図る新たなしくみづくり」を策定 市立札幌大通高校PFI事業者選定、暫定校舎改修工事実施 「札幌市における中高一貫教育のこれまでの検討について」をとりまとめて公表し、市民意見の募集を実施 札幌市奨学金拡充に関する計画立案</p>	<p>重点校(7校)及び栽培活動実践校(12校)でリサイクル堆肥を利用した栽培活動を実施し、食育・環境教育を推進 学校評価の充実・改善のための実践研究を実施 札幌市教育研究推進事業、学校研究委託事業を実施 外国語指導助手(ALT)48名配置(19年度より5名増員) 子どもや地域住民の読書活動を盛んにすること等を目的に学校図書館を地域に開放。20年度新規開設3校(ほか開設校計90校) 学校・地域連携事業の実施(20年度新規実施5校) 奨学金採用人数を171人増加。「定時制枠」と「障がい枠」の新たな採用枠を設定し、それぞれ、11人、4人を採用 「札幌市幼児教育センター」の開設 市立札幌大通高校開設、新校舎建築工事実施 市立高校合同説明会、中高一貫教育検討協議会の開催</p>
	21年度(実績)	22年度(実績)
	<p>フードリサイクル実践校64校でフードリサイクルに取組み、実践活動を通して食育・環境教育を推進 学校評価の充実・改善のための実践研究を実施 札幌市教育研究推進事業、札幌市研究開発関連事業における「学ぶ力の育成」研究事業を実施 外国語指導助手(ALT)53名配置(20年度より5名増員) 子どもや地域住民の読書活動を盛んにすること等を目的に学校図書館を地域に開放。21年度新規開設3校(ほか開設校計93校) 学校・地域連携事業の実施(21年度新規実施5校) 札幌市立大学大学院施設工事竣工、認可申請等 奨学金採用人数を473人増加(レベルアップ分計362人) 札幌市幼児教育センター機能の充実、幼児教育の振興を図るための新たな施策の実施 市立札幌大通高校新校舎建築工事竣工(22年2月) 中高一貫教育校の設置可否決定に向けた検討の実施</p>	<p>フードリサイクル実践校74校でフードリサイクルに取組み、実践活動を通して食育・環境教育を推進 札幌市教育研究推進事業、札幌市研究開発関連事業における「学ぶ力の育成」研究事業を実施 外国語指導助手(ALT)58名配置(21年度より5名増員) 子どもや地域住民の読書活動を盛んにすること等を目的に学校図書館を地域に開放。22年度新規開設3校(ほか開設校計96校) 学校・地域連携事業の実施(22年度新規実施5校) 奨学金採用人数を136人増加(レベルアップ分計548人) 研究の推進、成果の共有など札幌市幼児教育センター機能の充実、評価制度など幼児教育の進行を図る新たな施策の検討 「札幌市中高一貫教育校基本構想」の策定</p>
施策2	健やかな育ちの推進	
	19年度(実績)	20年度(実績)
	<p>スクールカウンセラーを学校に配置し、いじめ・不登校等、生徒指導上の課題に対応していくための教育相談体制の充実を図る。スクールカウンセラーを全ての小学校に派遣、スーパーバイザーの増員を実施 児童クラブ等における障がいのある子どもがいる場合の指導員配置や助成について、障がいのある児童数が2名以上であるものを1名以上へ充実 特別支援学級の開設(小学校27校29学級、中学校3校3学級)、簡易整備への追加整備(中学校2校) 特別支援教育巡回相談員を3名から10名に増員。特別支援教育研究モデル事業における地域ボランティアに係るモデル事業、北翔・豊成看護配置モデル事業等の実施</p>	<p>夜間、休日等における児童虐待通告への初期調査業務を既存の児童家庭支援センター2か所に業務委託し実施 スクールカウンセラーによる小学校、中学校における相談時間を増やすなど充実を図った 児童クラブ等において、障がいのある児童の登録数が1名以上の場合に指導員加配や助成を実施 特別支援学級の開設(小学校17校21学級、中学校7校8学級)、簡易整備への追加整備(小学校9校、中学校1校) 特別支援教育巡回相談員配置モデル事業、特別支援教育支援員活用事業(学びのサポーター活用事業)、北翔・豊成養護学校看護師配置モデル事業等の実施 豊明高等養護学校における平成22年度までの3間口増に対応するための、増築、改修等の実施</p>
	21年度(実績)	22年度(実績)
	<p>夜間、休日等における児童虐待通告への初期調査業務を既存の児童家庭支援センター2か所に業務委託し実施 全ての小学校・中学校にスクールカウンセラーを配置 児童クラブ等において、障がいのある児童の登録数が1名以上の場合に指導員加配や助成を実施 特別支援学級の開設(小学校12校12学級、中学校8校8学級) 特別支援教育巡回相談員配置モデル事業、特別支援教育支援員活用事業(学びのサポーター活用事業)、北翔・豊成養護学校看護師配置モデル事業等の実施</p>	<p>児童家庭支援センターについて、22年度に2カ所増設 児童クラブ等において、障がい児対応の指導員派遣回数を実施するとともに、児童クラブに障がい児の登録がなく、直接来館のみの利用がある場合にも指導員を派遣 特別支援学級の開設(小学校26校27学級、中学校8校10学級) 特別支援教育巡回相談員配置モデル事業、特別支援教育支援員活用事業(学びのサポーター活用事業)、北翔・豊成養護学校看護師配置モデル事業等の実施 地域小規模児童養護施設1カ所の開設</p>

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画施策進行調書(その5)

政策目標	1	子どもを生き育てやすく、健やかにはぐくむ街				
重点課題	2	未来を担う子どもが健やかに育つ環境の充実				
主な取組内容						
施策3	自らが考え思いやりと豊かな心をはぐくむ環境づくり					
	19年度(実績)	20年度(実績)				
	<p>児童会館等の子ども運営委員会を新たに48館設置。北郷児童会館改築に際し子ども検討委員会を設置 体験活動事業「大志塾」を実施し、小学生167人が参加 職業・市民体験事業「ミニさっぽろ」を実施。小学3、4年生延べ4,428人参加 佐藤忠良関連施設整備のための実施設計及び作品購入 Kitaraファーストコンサート実施。205校15,162人児童参加 林間学校等に1,872人の児童生徒が参加 青少年科学館の力学系展示物を更新 児童会館の中・高校生夜間利用を、20館増の40館で実施 ミニ児童会館について、余裕教室等を活用し4館、学校施設方式児童育成会からの転換により7館を整備 「札幌市放課後子どもプラン(案)」パブリックコメントを実施 (仮称)子どもの権利条例素案を策定しパブリックコメントを実施</p>	<p>「21世紀東アジア青少年交流計画」の受け入れ団体と協力し、訪問団との学校交流(高校)、地域住民との交流を実施 児童会館等の子ども運営委員会を全館(新規95館、計155館)で設置。北郷児童会館改築での子どもの意見の取り入れ 体験活動事業「大志塾」を8回に渡り実施。255人が参加 職業・市民体験事業「ミニさっぽろ」を2日間実施し、小学3、4年生延べ3,096人が参加 美術体験事業「ハロー！ミュージアム」として小学5年生833人を芸術の森へ招待し、ワークショップ等を実施 中学生を対象に映画制作ワークショップを実施。17人参加 芸術の森野外美術館内に「佐藤忠良記念子どもアトリエ」をオープン Kitaraファーストコンサートに、211校15,676人の児童参加 林間学校等に1,779人の児童生徒が参加 青少年科学館の中長期的なあり方の検討に向け準備実施 児童会館の中・高校生夜間利用を、20館増の60館で実施 小学校の余裕教室等活用ミニ児童会館4館(空白校区2館、民間児童育成会のみ小学校区2館)を新規整備 「札幌市放課後子どもプラン」の策定及び同プランの推進 子どもの権利条例の制定及び救済機関の設置準備</p>				
	21年度(実績)	22年度(実績)				
	<p>「21世紀東アジア青少年交流計画」に併せ、交流事業実施 新設のミニ児童会館4館に子ども運営委員会を設置するほか、全市の子ども運営委員会からの活動報告や意見交換会、遊びを通じた交流などの事業(通称:さっぽろ子どもサミット)を実施。 体験活動事業「大志塾」を8回に渡り実施。225人が参加 小学3、4年生対象の職業・市民体験事業を2日間実施 小学5年生1,891人を芸術の森招待。小学校2校にアーティスト派遣 中学生対象の映画制作ワークショップを実施。上映会開催 Kitaraファーストコンサートを、延べ5日間、10回実施 林間学校、アタックキャンプ、野外活動指導員研修を実施 社会教育委員会議から青少年科学館の展示物整備の今後の方向性について答申書が提出された。 児童会館の中・高校生夜間利用を、20館増の80館で実施 小学校の余裕教室等活用ミニ児童会館5館を新規整備 放課後子ども教室推進モデル事業の実施等 子どもの権利救済機関(名称:子どもアシストセンター)開設、子どもの権利条例の広報普及、子どもの権利委員会設置</p>	<p>新設のミニ児童会館5館に子ども運営委員会を設置 体験活動事業「大志塾」を8回に渡り実施。224人参加 小学3、4年生対象の職業・市民体験事業を2日間実施 小学5年生5,586人を芸術の森招待。小学校4校にアーティスト派遣 中学生対象の映画制作ワークショップを実施。上映会開催 Kitaraファーストコンサートを、延べ5日間、10回実施 林間学校、アタックキャンプ、野外活動指導員研修を実施 答申書を踏まえた青少年科学館の展示物の整備を推進 児童会館の中・高校生夜間利用を、23館増の103館で実施 小学校の余裕教室等活用ミニ児童会館8館を新規整備 放課後子ども教室推進モデル事業の実施等 子どもの権利に関する推進計画の策定</p>				
主な施設、サービスの整備水準						
施設(サービス)名	18年度末(現状)	19年度末(実績)	20年度末(実績)	21年度末(実績)	22年度末(実績)	22年度末(目標)
外国語指導助手	43人	43人	48人	53人	58人	58人
学校図書館地域開放	87校	90校	93校	96校	99校	99校
奨学金(高校・大学生)	456人	463人	698人	1,171人	1,307人	1,000人
児童家庭支援センター事業	2カ所	2カ所	2カ所	2カ所	4カ所	4カ所
スクールカウンセラー	小学: - 中学: 週6時間	小学: 月2時間 中学: 週6時間	小学: 月4時間 中学: 週8時間	小学: 月4時間 中学: 週8時間	小学: 月4時間 中学: 週8時間	小学: 月4時間 中学: 週8時間
児童クラブなどの障がい児受入	2人以上で 指導員加配、助成	1人以上で 指導員加配、助成	1人以上で 指導員加配、助成	1人以上で 指導員加配、助成	1人以上で 指導員加配、助成	1人以上で 指導員加配、助成
特別支援教育巡回相談員	3人	10人	10人	10人	10人	10人
地域小規模児童養護施設	-	-	-	-	1カ所	1カ所
児童会館の中・高校生夜間利用	20館	40館	60館	80館	103館	104館
ミニ児童会館	40館	51館	55館	60館	68館	70館

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画施策進行調書(その6)

政策目標	1	子どもを生き育てやすく、健やかにはぐくむ街
重点課題	2	未来を担う子どもが健やかに育つ環境の充実
評価(成果)		課題
施策1	学びの意欲を育てる学校教育の推進	
	<p>フードリサイクル堆肥を利用して栽培した食材の使用日に合わせてリサイクルや地産地消について指導したことで児童生徒の食への興味関心が高まった。</p> <p>地域人材の活用により、子ども達の興味・関心を高める授業が行われた。また、札幌市研究開発事業を通し、各学校が信頼される学校の創造に係る課題について様々な実践研究に取り組み、学校教育の充実と発展に寄与した。</p> <p>ALTの総数を58名としたことで、高等学校は通年配置(一部複数配置)、中学校におけるALTとTT授業率が19%(21年度)から21%に向上した。</p> <p>学校図書館地域開放事業、学校・地域連携事業については学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たし協力して進めており、明日を担う子どもたちの成長・発達に寄与している。</p> <p>奨学金制度拡充の周知を図った結果、申込者が増加し、緊急経済対策として支給費を補正した分も合わせると、採用者も前年度より136人多い1,307人となった。</p> <p>札幌市幼児教育センターにおいて、私立・市立幼稚園の連携の基盤づくり等の取り組みを実施した。</p> <p>市立札幌大通高校の新校舎は22年4月に供用開始した。</p>	<p>リサイクルや地産地消など環境や食に対する学ぶ意欲を持続的に高めていけるよう、日常から意識できるような啓発や体験などにより実感できる取組みを進める必要がある。</p> <p>また、地域人材の活用は進んでいるものの、学校の負担増などより効果的な持続可能な連携方法を検討して行く必要がある。</p> <p>幼児教育では、私立幼稚園との緊密な連携を図りながら、市立幼稚園を中心とした効果的な教育体制を構築する必要がある。</p> <p>大通高校はPFI事業の有効性を検証するとともに、外部人材からの継続的な支援を受けられる体制づくりが必要となる。</p>
施策2	健やかな育ちの推進	
	<p>身近な地域に24時間体制で電話相談できる体制の整備や、地域小規模児童養護施設の整備を行うこと児童虐待への対応の充実を図ることができた。</p> <p>児童クラブにおける障害のある子どもの受け入れ態勢を充実させることで、子どもが健やかに育つ環境の整備ができた。</p> <p>各学校における、スクールカウンセラーの相談件数も増えており、特に、中学生や高校生とその保護者に広く理解され、不登校以外の相談も多くなり多岐にわたっている。</p> <p>特別支援学級未設置校への開設を行ったことにより、児童生徒が区域外の特別支援学級に通学しなければならないことによる負担が軽減されるとともに、同じ地域の子どもたちとの交流の機会が多くなり、地域社会との結びつきが強くなる。</p> <p>特別支援教育巡回相談員の学校支援体制を充実させたことにより、児童生徒に適切な支援を実施することができた。</p> <p>豊明高等養護学校の施設整備により、21間口の定員を確保し、札幌圏の高等特別支援学校の定員が増加した。</p>	<p>児童虐待への対応を充実させるため、身近な相談窓口の充実や家庭的な養育環境の整備を引き続き進めていく必要がある。</p> <p>スクールカウンセラーを全ての小、中、高に配置したが、年齢や経験年数等、様々なスクールカウンセラーを任用していることから、スクールカウンセラーの質の向上が課題となっており、今後の不登校等を未然に防ぐため、小学校での相談体制強化が必要である。</p> <p>特別支援教育巡回相談員については、より高い専門性を求められる場合があるなどの課題があり、学校支援を充実させるため、より多くの学校に対応するとともに、人材育成を見据えて事例の共有など経験を蓄積できる体制づくりを進める必要がある。</p>
施策3	自らが考え思いやりと豊かな心をはぐくむ環境づくり	
	<p>子どもが、日常ではできない社会体験や野外体験等の機会を提供することを通して、創造性や自主性、社会の一員としての自覚や責任感などをはぐくむことができた。また、文化・芸術等に対する関心、国際理解を促進することができた。</p> <p>より充実した放課後の居場所づくりを進めるため「札幌市放課後子どもプラン」を策定。ミニ児童会館の整備等により、安全・安心な放課後の居場所が確保できた。さらに、児童会館における中・高校生の夜間利用拡大においては、ボランティア活動の広がりや地域住民と児童会館との関係強化などの効果も現れている。事業・運営への子ども参加の仕組みが全館で整い、他館との交流の場が広がるなど子ども自身が一層責任感や主体性を持って活動できる児童会館が実現できた。</p> <p>子どもの権利に関して、条例制定に向けた検討や意義等について広報普及を進め、平成20年11月に条例を制定し、平成23年3月に子どもの権利に関する推進計画を策定した。</p>	<p>活動場所や指導者の確保などの課題がある中で、参加者の拡大や多様な体験機会の確保、より質の高い体験機会の提供に困難が伴う。事業の充実のために、引き続き、運営体制や実施方法等についての見直しや工夫が求められるほか、市民や企業との一層の連携・協力が必要である。</p> <p>子どもの権利について、総合的な推進計画が策定されたことから、今後も正しい理解が図られるよう、広報・普及により一層努める必要がある。</p> <p>放課後の居場所と活動の場の確保のため、引き続きミニ児童会館の整備を進めていくとともに、子ども運営委員会の充実を図っていく必要がある。</p>

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画施策進行調書(その7)

政策目標	1	子どもを生き育てやすく、健やかにはぐくむ街
重点課題	2	未来を担う子どもが健やかに育つ環境の充実
今後の重点取組		
<p>学校教育を充実・発展させるため、各学校での地域人材の活用をはじめとした課題解決への特色ある取り組みを促進し、リサイクル堆肥を活用した環境教育や、ALTを活用した外国語教育など、学びの意欲を育てる体験的、実践的な学習環境を整える必要がある。市立高校改革の取組みのうち、個性を尊重しながら、継続的な学びの場を作るため、中高一貫校の設置を検討し、中等教育の充実を図る。</p> <p>増加傾向にある「いじめ・不登校対策」について、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど学校と連携した相談体制の充実を図るとともに、不登校となっている児童生徒に対しても、学校や関係機関との連携のもと、社会とつながりの持てる支援体制を構築していく必要がある。</p> <p>総合的な放課後対策としては、地域の実情に応じた柔軟な対応を行いながら、将来的にはすべての小学校区で放課後などの居場所を確保することを目標に取り組んでいく。</p> <p>児童家庭支援センターの整備や地域小規模児童養護施設の整備等、児童虐待に関する取組みを進めてきたが、児童虐待の相談件数が依然として高水準であることから、児童相談体制や社会的養護体制のさらなる強化を図っていく必要がある。</p> <p>「子どもの権利条例」及び「子どもの権利に関する推進計画」に基づき、広報・普及や子どもの参加機会を充実する取り組みを実施し、子どもの権利を尊重できる環境づくりを進めていく。</p>		

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画施策進行調書(その8)

政策目標	1	子どもを生き育てやすく、健やかにはぐむ街																													
重点課題	2	未来を担う子どもが健やかに育つ環境の充実																													
成果指標等の動向																															
項目1	家庭などにおいて、自分の興味のあることについて調べたり、勉強したりしている児童生徒の割合(単位:%)	項目2 地域への授業公開校の割合(小・中学校)(単位:%)																													
<table border="1"> <caption>項目1: 家庭などにおいて、自分の興味のあることについて調べたり、勉強したりしている児童生徒の割合(単位:%)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18 (現状値)</td> <td>51.5</td> </tr> <tr> <td>H19 (実績)</td> <td>51.5</td> </tr> <tr> <td>H20 (実績)</td> <td>51.5</td> </tr> <tr> <td>H21 (実績)</td> <td>51.5</td> </tr> <tr> <td>H22 (実績)</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>H22 (目標値)</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>		年度	値	H18 (現状値)	51.5	H19 (実績)	51.5	H20 (実績)	51.5	H21 (実績)	51.5	H22 (実績)	100	H22 (目標値)	100	<table border="1"> <caption>項目2: 地域への授業公開校の割合(小・中学校)(単位:%)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18 (現状値)</td> <td>75.1</td> </tr> <tr> <td>H19 (実績)</td> <td>77.7</td> </tr> <tr> <td>H20 (実績)</td> <td>77.1</td> </tr> <tr> <td>H21 (実績)</td> <td>85.6</td> </tr> <tr> <td>H22 (実績)</td> <td>99.9</td> </tr> <tr> <td>H22 (目標値)</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>		年度	値	H18 (現状値)	75.1	H19 (実績)	77.7	H20 (実績)	77.1	H21 (実績)	85.6	H22 (実績)	99.9	H22 (目標値)	100
年度	値																														
H18 (現状値)	51.5																														
H19 (実績)	51.5																														
H20 (実績)	51.5																														
H21 (実績)	51.5																														
H22 (実績)	100																														
H22 (目標値)	100																														
年度	値																														
H18 (現状値)	75.1																														
H19 (実績)	77.7																														
H20 (実績)	77.1																														
H21 (実績)	85.6																														
H22 (実績)	99.9																														
H22 (目標値)	100																														
【実績値の推移に係る検証】 -		【実績値の推移に係る検証】 廃校予定の学校を除き、全校で達成することができた																													
項目3	小・中学校における地域人材の活用人数(単位:人)	項目4	不登校児童・生徒の出現率(単位:%)																												
<table border="1"> <caption>項目3: 小・中学校における地域人材の活用人数(単位:人)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18 (現状値)</td> <td>10,259</td> </tr> <tr> <td>H19 (実績)</td> <td>10,660</td> </tr> <tr> <td>H20 (実績)</td> <td>12,360</td> </tr> <tr> <td>H21 (実績)</td> <td>12,622</td> </tr> <tr> <td>H22 (実績)</td> <td>13,004</td> </tr> <tr> <td>H22 (目標値)</td> <td>12,000</td> </tr> </tbody> </table>		年度	値	H18 (現状値)	10,259	H19 (実績)	10,660	H20 (実績)	12,360	H21 (実績)	12,622	H22 (実績)	13,004	H22 (目標値)	12,000	<table border="1"> <caption>項目4: 不登校児童・生徒の出現率(単位:%)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18 (現状値)</td> <td>1.09</td> </tr> <tr> <td>H19 (実績)</td> <td>1.16</td> </tr> <tr> <td>H20 (実績)</td> <td>1.18</td> </tr> <tr> <td>H21 (実績)</td> <td>1.19</td> </tr> <tr> <td>H22 (実績)</td> <td>1.23</td> </tr> <tr> <td>H22 (目標値)</td> <td>1.0未滿</td> </tr> </tbody> </table>		年度	値	H18 (現状値)	1.09	H19 (実績)	1.16	H20 (実績)	1.18	H21 (実績)	1.19	H22 (実績)	1.23	H22 (目標値)	1.0未滿
年度	値																														
H18 (現状値)	10,259																														
H19 (実績)	10,660																														
H20 (実績)	12,360																														
H21 (実績)	12,622																														
H22 (実績)	13,004																														
H22 (目標値)	12,000																														
年度	値																														
H18 (現状値)	1.09																														
H19 (実績)	1.16																														
H20 (実績)	1.18																														
H21 (実績)	1.19																														
H22 (実績)	1.23																														
H22 (目標値)	1.0未滿																														
【実績値の推移に係る検証】 地域人材の活用については増加傾向にある		【実績値の推移に係る検証】 不登校の要因の複雑化、多様化に対応し充実に向け取組みを進め																													
項目5	児童会館で行われている事業の参加者数(単位:万人)	項目6																													
<table border="1"> <caption>項目5: 児童会館で行われている事業の参加者数(単位:万人)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18 (現状値)</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>H19 (実績)</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>H20 (実績)</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>H21 (実績)</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>H22 (実績)</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>H22 (目標値)</td> <td>47</td> </tr> </tbody> </table>		年度	値	H18 (現状値)	41	H19 (実績)	45	H20 (実績)	50	H21 (実績)	49	H22 (実績)	50	H22 (目標値)	47																
年度	値																														
H18 (現状値)	41																														
H19 (実績)	45																														
H20 (実績)	50																														
H21 (実績)	49																														
H22 (実績)	50																														
H22 (目標値)	47																														
【実績値の推移に係る検証】 H21は新型インフルエンザによる行事中止の影響を受けた		【実績値の推移に係る検証】																													
成果指標等から見た重点課題の評価																															
<p>「家庭などにおいて、自分の興味のあることについて調べたり、勉強したりしている児童生徒の割合」については、成果が伸び悩んでおり、目標達成は難しいであるため、学校と家庭の連携を深め、子どもたち一人一人に、自ら課題を見付け、自ら学び、よりよく問題を解決する資質や能力をはぐむ環境をつくる必要がある。</p> <p>「地域への授業公開校の割合(小・中学校)」については目標を概ね達成し、「小・中学校における地域人材の活用人数」については目標達成後も順調に増加しており、今後は地域人材を活かした取り組み内容を充実させるとともに、持続可能なものとする仕組み作りが必要となる。</p> <p>「不登校児童・生徒の出現率」については、支援の在り方や相談体制の充実に努めているものの、不登校の要因は非常に複雑化、多様化しているため、増加傾向にある。今後は、不登校を予防する早期からの相談や一人一人の状況に応じた支援などの体制づくりを進める必要がある。</p> <p>「児童会館で行われている事業の参加者数」については、目標値を上回る水準で推移しており、順調に推移していると言える。</p>																															